

令和4年度「先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金」
「先進事業」における『先進設備・システム』公開用概要書

製造会社情報（コンソーシアムの場合は、幹事社）

設備/システム名	MVR型蒸発濃縮装置
型番	MVR-F■
会社名	木村化工機株式会社
本社所在地	兵庫県尼崎市杭瀬寺島二丁目1番2号
会社WEBページURL	https://www.kcpc.co.jp/
製品紹介ページURL	https://kcpc-engineering.co.jp/ede/mvrtype-evaporator/

製品についてのお問い合わせ先

連絡先	エンジニアリング事業部営業部 担当部長 市川 昭則 電話番号 06-6488-2509、携帯番号 090-9592-0258 E-mail: ichikawa_a@kcpc.co.jp
-----	---

登録設備情報

導入可能な主な業種・分野	E. 製造業		
導入対象となる分野・プロセス	製品濃縮、低沸点溶剤回収、廃液濃縮		
導入事例の省エネ量（原油換算：kl）	942	kl/年	
工場・事業場当たりの想定省エネ率	—	%	
設備・システム当たりの想定省エネ率	74.7	%	
導入事例における費用対効果（年間）	56.8	kl/千万円	
1台又は1式当たりの想定導入価格（参考）	166,000,000	円	
保守・メンテナンス等の年間ランニング費用	3,000,000	円/年	

製品・システムの概要

<p>MVR型蒸発濃縮装置とは、自己蒸気圧縮型(Mechanical Vapor Recompression Type)の蒸発装置のことです。液の濃縮の過程でヒーターで発生するベーパーを圧縮機(ファン)により断熱圧縮して昇温・昇圧し、自己の加熱源として再利用する自己熱再生型省エネ装置です。そのため、定常運転時にはヒーター加熱用の蒸気やベーパーを凝縮させる冷却水がほぼ不要となります。</p> <p>本装置のエネルギー源は圧縮機の電力となりますが、その必要エネルギーは蒸発に必要な熱エネルギー(蒸発潜熱)に比べて非常に小さいため、エネルギー消費量を飛躍的に低減できます。適用分野は一般化学工業、ファインケミカル、食品製造分野、半導体製造分野等、多岐にわたり、対象プロセスは各種糖液、CSL、牛乳、ホエイ、グルタミン酸、コーヒー、発酵液、発酵廃液、黒液、希薄苛性ソーダ、メッキ液、ラクタムの濃縮、アンモニア廃液や低沸点溶剤を含む廃液の濃縮・回収に実績があります。</p>
--

先進性についての説明

<p>供給液を蒸発濃縮、または蒸留する過程で発生する蒸気(ベーパー)を圧縮機によって断熱圧縮して昇温・昇圧することで自らのベーパーの熱エネルギーを圧縮機で再生させ、連続的に再利用できる技術です。そのため、定常運転時の加熱に必要な熱源の蒸気や系外へ排出する熱(冷却水)が不要となり、飛躍的な成績係数が得られます。</p> <p>成績係数(C.O.P.):加熱に必要な熱量/装置の稼働に必要な消費エネルギー(電力) 圧縮機での圧縮温度を低く抑えることで省エネルギー効果が高くなるため、ヒーターの伝熱面積を大きくしています。最終的には、圧縮温度差とヒーターの伝熱面積、圧縮機の電力使用量との関係を検討して、最も経済的なポイントでシステム設計を行います。</p>

製品・システムの概要・イメージ図

【MVR型蒸発濃縮装置の原理と蒸気の流れ】

蒸気圧縮機 M
スチーム 0t/hr
圧縮蒸気
ペーパー
廃ペーパー 0t/hr

【蒸発量；3,000～40,000 kg/hr】

MVR型式	液の沸点上昇	ファン圧縮度	C.O.P
MVR-F1 (ファン1基)	～7℃	6～9℃	20～40
MVR-F2 (ファン直列2基)	～16℃	9～18℃	10～20
MVR-F3 (ファン直列3基)	～25℃	18～27℃	5～10

C.O.P. = [蒸発熱量] ÷ [ファン理論動力] (但し、圧縮効率を除く)

補助金申請対象範囲

蒸気
ドレン
供給液
予熱器
ドレンポンプ
循環ポンプ
セパレータ
ヒータ
圧縮機
コンデンサ
真空ポンプ
濃縮液
排気
CW
CWR

単効用MVR

導入事例の概要・イメージ図

業種・分野	食品加工分野	対象設備・プロセス	ペプチドの濃縮
<p>・処理量：5,800 kg/h、蒸発量：5,046 kg/h 既設蒸発濃縮装置をMVR型に更新することで、事業場全体の省エネルギーを図った。「自己蒸気機械圧縮型(通称MVR型)蒸発装置導入による省エネルギー事業」として、平成28年度エネルギー使用合理化等事業者支援補助金交付を取得した。</p>			
<p>【従来型蒸気式】2重効用蒸発濃縮装置 製品生産量：490kg/hr、蒸気量：2,100kg/hr、電気使用量 72.4kW ①蒸気のエネルギー使用量 (kL/年) = 2,100 (kg/hr) / 1,000 (ton/kg) × 2.573 (GJ/ton) × 0.0258 (kL/GJ) × 8,000 (hr/年) ≒ 1,115.2 (kL/年) ②電気のエネルギー使用量 (KL/年) = 72.4 (kWh) × 9.76 (GJ/千kW) × 0.0258 (kL/GJ) × 8,000 (hr/年) ≒ 145.8 (kL/年) ①+②=1,115.2 + 145.8 = 1,261.0 (kL/年)</p>			<p>【従来型2重効用蒸発濃縮装置】</p>
<p>【本装置電気式】MVR型蒸発濃縮装置 製品生産量：754kg/hr、蒸気量：定常時0kg/hr、(年5回の立上げ時に5000kgの蒸気を使用する)、 電気使用量 158.1kW (定格) ①蒸気のエネルギー使用量 (kL/年) = 5,000 (kg/年) / 1,000 (ton/kg) × 2.573 (GJ/ton) × 0.0258 (kL/GJ) ≒ 0.33 (kL/年) ②電気のエネルギー使用量 (KL/年) = 158.1 (kWh) × 9.76 (GJ/千kW) × 0.0258 (kL/GJ) × 8,000 (hr/年) ≒ 318.5 (kL/年) ①+②=0.33 + 318.5 = 318.83 (kL/年) 【省エネ率】 省エネ率 (%) = 100 - {318.83 (kL/年) / 1261.0 (kL/年) × 100} ≒ 74.7 (%) 【省エネ量 (原油換算)】 省エネ量 (kL/年) = 1261.0 (kL/年) - 318.83 (kL/年) ≒ 942.2 (kL/年) <備考> スチームのエネルギー換算量：2.573 GJ/ton 原油換算係数：0.0258 kL/GJ 電気のエネルギー換算量：9.76 GJ/千kW 年間稼働時間：8,000 h r</p>			